

将来にわたりスポーツ・文化芸術活動に親しむことができる環境づくりを 中学校の休日部活動の段階的な地域移行が始まっています

少子化や教職員の働き方改革が進み、部活動の従来どおりの運営が難しくなっている中学校の部活動。その対応として、スポーツ庁と文化庁が、令和5年度から3年間を「改革推進期間」として、学校部活動の地域連携や地域クラブへの移行に向けた環境整備（地域移行）を進めることとしています。この方針を受け、長野県は令和8年度を目途に、休日の部活動を地域へ移行する方針を示しています。



スポーツ協会卓球部の指導者から指導を受ける城南中学校生徒。

このほか、岳北4市村（飯山市、木島平村、野沢温泉村、栄村）の教育委員会が中心となり、広域で連携し、休日部活動の地域移行に取り組みを仕組みづくりの検討を始めています。

今後、生徒たちのスポーツや芸術文化の活動が実施できるよう、引き続き取り組みを進めていきます。

お問い合わせ
スポーツ推進課
TEL 67・0746（課代表）

小中学校の災害義援金の取り組み

この度の令和6年能登半島地震に際し、市内小中学校でも義援金を送るなどの活動が行われています。

城南中学校では、1月下旬に生徒会で募金活動を実施。生徒や保護者などから11万9052円が集まり、日本赤十字社を通じ石川県に送りました。

その他、秋津小学校では資源回収収益金の一部などを被災地に送る取り組み、常盤小学校では収穫したもち米の販売収益や児童会の募金活動などにより被災地に義援金を送る取り組みを計画しています。

（いずれも令和6年2月1日現在の状況）

飯山市はパートナー自治体 満蒙開拓平和記念館へ出かけませんか

1930年代（昭和初期）より国策として進められ、戦争により多くの犠牲を出した満蒙開拓の歴史を学ぶことができる満蒙開拓平和記念館をご存じでしょうか。

満蒙開拓では、長野県が全国で最も多い三万人あまりの開拓民を送り出しており、飯山市からも一千人を超える方々が満州に渡ったといわれています。飯山市では、この

悲惨な歴史を後世に伝え、市民の皆さんに平和への思いを深めていただくため、同館の「パートナー自治体」として登録しています。

3月には、パートナー自治体に住む市民の方が入館料無料となる「自治体パートナーウィーク」が以下のとおり予定されています。この機会に一度お出かけになってはいかがでしょうか。（関連17ページ）

満蒙開拓平和記念館

- 所在地 下伊那郡阿智村駒場711番地10
- 電話 0265-43-5580
- 入館料 一般：600円 小中高生：300円

【自治体パートナーウィーク】
令和6年（2024年）3月3日（日）～15日（金）
自治体パートナーウィークの10日間は、飯山市民の方は入館無料となります。（来館の際は運転免許証等の住所がわかるものをご持参ください）

飯山からの出場選手の皆さん

- 全中・インターハイ・国スポ・ジュニア世界選手権・W杯
- 飯山から全国大会、世界大会に出場の皆さんをご紹介します。（敬称略、飯山市在住選手を掲載）
- ◆第61回全国中学校スキー大会（2月6～9日、野沢温泉村）
 - ◆アルペン 宮澤優輝（城北中）、山田さくら（城北中）、荻原志曜（城北中）
 - ◆クロスカントリー 高橋優太郎（城南中）、斉藤隆希（城南中）、石川優菜（城南中）、伊東咲幸（城南中）、木内純花（城北中）、田中希果（城北中）
 - ◆ジャンプ 村山未来翔（城南中）、大塚愛佳（城北中）
 - ◆第73回全国高等学校スキー大会（2月7～11日、富山県南砺市他）
 - ◆アルペン 高橋駆琉（長野俊英高校）、保坂宙（長野俊英高校）、堀川七桜（旭川明成高校）、鈴木華夏（中野西高校）
 - ◆クロスカントリー 大日方彩吹（飯山高校）、岡田澁樹（飯山高校）、小坂璃彩（飯山高校）
 - ◆FISノルディックジュニア世界選手権（2月、スロベニア）
 - ◆クロスカントリー 小林皓生（中央大学）
 - ◆ノルディックスキー・ワールドカップ（1月、ドイツ他）
 - ◆クロスカントリー 小林千佳（長野日野自動車）
 - ◆第78回国民スポーツ大会冬季スキー競技会（2月21～24日、山形県）
 - ◆アルペン 保坂宙（長野俊英高校）、堀川七桜（旭川明成高校）
 - ◆クロスカントリー 小坂璃彩（飯山高校）、小林千佳（長野日野自動車）、浦野裕之（飯山市スキークラブ）
 - ◆リレー 飯山高校男子、飯山高女子
 - ◆ジャンプ 坂本季花（飯山高）
- 山高校）、高橋幸由実（飯山高校）、篠原真仁（長野日本大学高校）、山崎宏（下高井農林高校）

「飯山市未来の保育検討会」 公募委員を募集します

飯山市では、より良い保育環境を実現するための課題や、今後の保育のあり方を具体的に定めていくため「飯山市未来の保育検討会」で検討を行っていきます。

検討にあたり、広く市民の皆さまの声を反映させるため、公募委員を以下のとおり募集します。

■応募資格（次の要件に該当する方）

- 1) 飯山市に住居登録している20歳以上の方
- 2) 他の審議会等の公募による委員に選任されていない方
- 3) 飯山市の議会議員または職員でない方
- 4) 市税等を滞納していない方

■募集人員 2名

■受付期間 令和6年2月13日（火）～3月8日（金）

■任期 1年間（令和7年3月まで）

■謝礼 謝礼として要領で定める額をお支払いします

■応募方法

応募申込書に必要事項をご記入のうえ、子ども育成課窓口（市役所3階）へ持参、郵送、電子メール（kodomo@city.iiyama.nagano.jp）またはFAX（TEL 62-5990）で提出してください。なお応募申込書は市ホームページからもダウンロードできます。

■お問合せ

子ども育成課子育て支援係
電話 67-0741（課代表）



詳しくは
飯山市ホームページを
ご覧ください

人権学習 シリーズ

互いを認め合える、優しい社会に

飯山小学校長 村田 忠久

「私がなかよし月間で学んだことは二つあります。一つ目は、権利の大切さです。二つ目は、相手の気持ちを考える大切さです。」

この言葉は、12月16日に開催された「第51回差別のない明るい飯山市を築く市民大会」で、本校の6年生が発表した作文の言葉です。本年度、飯山小学校では、9月4日から9月29日までを「なかよし月間」と位置づけ、友達への苦しみや悩みに気づき、心を寄せ、自分の問題として解決していくこととする意志と実践力を図ることを目指し、様々な内容について取り組みました。

取り組みの一部を紹介すると、長野県警察本部スクールサポーターの山田恵津子さんを講師として行った講演会、校長講話、子どもたちの計画による仲良しタイム等です。また、各学級では、学級の実態に応じた人権教育の授業実践のほか、人権作文や人権標語、ポスター作り等にも取り組み

子どもたち一人ひとりが人権に関する正しい知識を身につけたら、人権感覚を高めたりすることができるようになりました。

小学校や中学校では、人権教育の視点をもって日々の教育活動を行うほか、「なかよし月間」のように重点的に人権教育に取り組む期間を設定し、人権教育を推進していますが、子どもたちの人権感覚を育てていくためには、私たち大人も人権感覚を磨くことが大切だと思います。そのためには、まず、自分が無意識にもっている固定的な思い込みや偏見に気づくことが大切です。ACジャパンの「聞こえてきたのは男性の声ですか、女性の声ですか」というテレビCMは、ジェンダーの平等をテーマにしたものですが、みなさんには男性、女性、どちらの声が聞こえてきたでしょうか。子どもたちのロールモデルとして、互いを認め合える、優しい社会を築いていきましょう。